

社会教育の課題について

- ①これまでの経過（国・市）
- ②社会教育の位置づけ
- ③社会教育委員の評価と意見
- ④今後の社会教育の充実に向けて



①これまでの経過

<教育委員会と首長の執行権限>

- 地方自治体において、教育に関する事務は、主に首長から独立した教育委員会が責任を負っていることは、教育について、政治的な中立性や継続性、安定性の確保が強く求められ、合議制の機関を通じて、公正中立な意思決定や住民意思の反映を図ることが適当だと考えられているため。
- 一方、教育委員会の所管とされる公立教育機関の管理運営は、財政的権限が首長に委ねられ、自治体の財政を統一的に処理することにより、効果的で均衡のとれた自治体運営を実施する必要と考えられるため、財政支出を伴う事業については、教育委員会は常に首長の合意を経て実施することが必要と解される。

①これまでの経過

<文化・スポーツ>

- 文化、スポーツ、社会教育施設に関する事務は、学校教育や社会教育との連携や事業の安定、継続の点での利点が重視され、これまで主として教育委員会が担当してきたが、地域づくりの観点から首長部局との関係も深く、文化、スポーツ等に関する事務については、一部自治体では首長に委任、また、首長部局の職員に補助執行させる事例もあった。
- このような状況を踏まえ、国の流れとして、地方自治体の実情や行政分野の性格に応じ、自治体の判断により首長が担当することを選択できるようになった。

※「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（H21.4.1施行）

※当市では「花巻市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例」を制定し、首長部局が文化、スポーツを担当することとなった。（H21.4.1施行）

2

①これまでの経過

<公民館・博物館・図書館>

- 観光、地域振興、まちづくり等を担う首長部局が公立の社会教育施設を所管することにより、社会教育の振興、文化観光振興、地域コミュニティの持続的発展に資するという考えから、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設は、これまで地域における学習ニーズに応える拠点として機能してきたが、近年、新たな役割が期待され、これらの社会教育施設を市長が管理し、執行することが法的に可能になった。
- 図書館、博物館、公民館等の公立社会教育施設は、自治体の判断により、教育委員会から首長部局への移管を可能。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条が、令和元年の5月31日に法改正・施行。

※「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（R1.5.31施行）

※当市では、これに合わせて条例を改正してはいないが、図書館は生涯学習部が補助執行。

3

②社会教育の位置づけ（組織の変遷）

年・月	組織等
平成19年4月	教育委員会事務局生涯学習振興課 ⇒ 地域振興部生涯学習課 ・社会教育、青少年教育事業、スポーツに関すること（補助執行） 教育委員会事務局地区公民館 ⇒ 地域振興部振興センター ・市民の自主的な地域活動と地域に根ざした生涯学習活動を支援するため、 花巻市公民館条例廃止し花巻市振興センター条例施行
年・月	組織等
平成20年4月	地域振興部生涯学習課 ⇒ 地域振興部生涯学習交流課（課名変更）

4

②社会教育の位置づけ（組織の変遷）

年・月	組織等
平成21年4月	地域振興部 ⇒ まちづくり部（部名変更） ・社会教育指導員の任免に関すること（補助執行） ・教育委員会名義の共催又は後援の承認に関すること（補助執行） 地域振興部生涯学習交流課 ⇒ まちづくり部地域づくり課（課名変更） ・社会教育委員に関すること（補助執行） ・学校体育施設の開放に関すること（補助執行） 教育委員会教育部体育振興課 ⇒ まちづくり部スポーツ振興課 ・スポーツに関すること（※職務権限の特例） 教育委員会教育部 ⇒ まちづくり部花巻図書館、宮沢賢治記念館、 宮沢賢治イーハトーブ館、花巻新渡戸記念館、 萬鉄五郎記念美術館（補助執行）
年・月	組織等
平成23年4月	まちづくり部地域づくり課 ⇒ まちづくり部生涯学習課（課名変更） ・スポーツ振興課へ学校体育施設の開放に関すること（移行）

※「花巻市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例」により、首長部局が教育に関する事務を管理し、及び執行するものと規定されている事項。

5

②社会教育の位置づけ（組織の変遷）

年・月	組織等
平成26年4月	まちづくり部 ⇒ 生涯学習部（部名変更） まちづくり部生涯学習課 ⇒ 生涯学習部生涯学習交流課（課名変更）
年・月	組織等
平成27年4月	花巻市立図書館、花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館が行う事務を生涯学習交流課も補助執行することに改正 宮沢賢治記念館、宮沢賢治イーハトーブ館が行う事務を賢治まちづくり課も補助執行することに改正
年・月	組織等
平成28年4月	生涯学習部生涯学習交流課 ⇒ 生涯学習部生涯学習課（課名変更）
年・月	組織等
令和3年4月	花巻市立図書館が行う事務を新花巻図書館計画室も補助執行することに改正

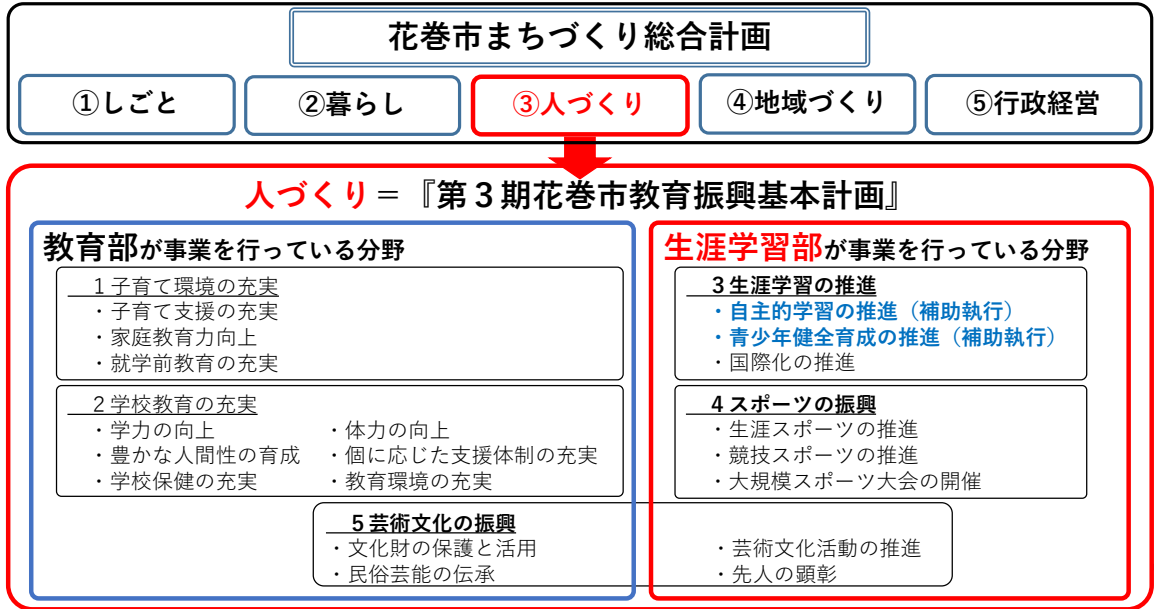
6

②社会教育の位置づけ（補助執行）

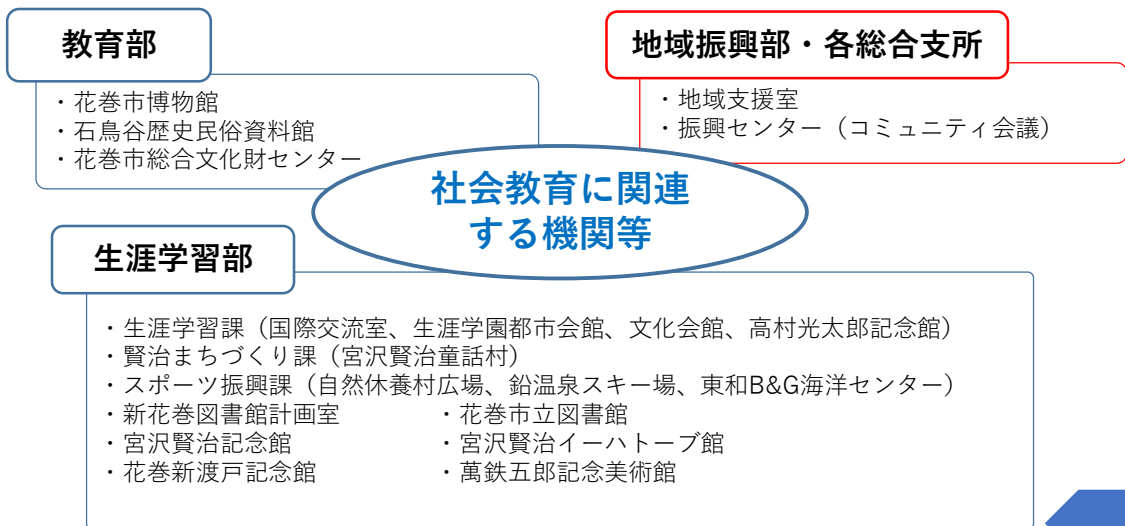
令和4年度の組織	生涯学習部の補助執行
生涯学習部	・社会教育指導員の任免に関すること ・教育委員会名義の共催又は後援の承認に関すること
生涯学習課	・社会教育事業に関すること ・社会教育委員に関すること ・青少年教育事業及び女性教育事業に関すること
スポーツ振興課	・学校体育施設の開放に関すること
新花巻図書館計画室 花巻図書館	・花巻市立図書館に関すること ・花巻市立図書館協議会に関すること
賢治まちづくり課 宮沢賢治記念館	・宮沢賢治記念館に関すること ・宮沢賢治記念館運営審議会に関すること
賢治まちづくり課 宮沢賢治イーハトーブ館	・宮沢賢治イーハトーブ館に関すること ・宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会に関すること
生涯学習課 花巻新渡戸記念館	・花巻新渡戸記念館に関すること ・花巻新渡戸記念館運営協議会に関すること
生涯学習課 萬鉄五郎記念美術館	・萬鉄五郎記念美術館に関すること ・萬鉄五郎記念美術館運営委員会に関すること

7

②社会教育の位置づけ（計画）



②社会教育の位置づけ（組織と関連機関）



③社会教育委員の評価と意見

<令和4年度第1回花巻市社会教育委員会議（7月21日）>

- ①学校教育と社会教育の関係がわからない。系統図とか関係図などはあるか。教育委員会という組織の中にあつたときは、目指す市民像などは共有できていたと思う。第三者に見せれる図式がほしい。
- ②補助執行や委任業務の変貌は望ましい形に改革が進んできたと思う。以前は教育委員会にあつた社会教育が市に、逆に保育所は教育委員会になっている。連携の取り方は難しくないか。
- ③コミュニティスクールが始まっている。これまでも教育振興協議会があり、学校には教育審議会、教育振興審議会がある。今後コミュニティスクールと地域がどのようにかわるべきか分からない。
- ④第3期教育振興基本計画と市の総合計画はどのようにリンクしているのか分からない。
- ⑤事業の指標はないか。事業がどの程度進んで、今年度の目標はどうなっているのか。
- ⑥地域生涯学習担当者研修は、振興センターの担当者研修か。社会教育主事などの研修を受けないと、どのように事業をして良いのか悩むのではないか。どんな内容で研修しているのか。
- ⑦「社会教育とは何か」というような、基本的なことを研修で最初にするべき。富士大学の先生などをお願いして社会教育とか生涯学習とは何かという研修をすればいいのではないか。

10

③社会教育委員の評価と意見（まとめ）

<令和4年度第1回花巻市社会教育委員会議（7月21日）>

- ① 社会教育がどのような組織・系統で行われているか分からない。
- ② 令和4年度の社会教育事業については、良好な評価をいただいた。
- ③ 補助執行による具体的な課題の指摘は無かった。
- ④ 補助執行に関連しては、教育委員会との連携が難しくないかとの質問。
- ⑤ 地域での社会教育事業担当者の研修などについて意見があつた。

➔ 意見について、7月25日に教育委員会協議会に報告

11

～第3期花巻市教育振興基本計画実施計画より～

< 社会教育に関連する成果指標 >

【成果指標】…まちづくり市民アンケート（現状値＝令和元（2019）年度実績）

施策体系	指標名	現状値	令和3年度実績値	令和7年度目標値
生涯学習の推進	日頃、学習活動や趣味、運動などに取り組んでいる市民の割合	33.2%	21.9%	44.6%
スポーツの振興	日頃からスポーツに取り組んでいる市民（20歳以上）の割合	49.1%	47.6%	65.0%
芸術文化の振興	この1年間に芸術文化活動を行った市民の割合	21.8%	15.1%	40.0%
	郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	69.2%	55.1%	71.0%

※令和3年度実績値のすべての指標は、現状値と比べ下がっているがコロナ禍の状況が続いてきたなか、集まったの生涯学習活動が制限されたことによるものと分析。

12

④今後の社会教育の充実に向けて

教育委員会との連携強化について

社会教育の補助執行については、当初から実質的に委任に近い状態で進められてきたが、意見を踏まえ教育委員会との連携を強化

- ➡教育振興審議会等における報告
毎年度の教育関係事務の点検・評価（主要事業の実施状況）に、社会教育事業の結果を追加し、点検・評価後、議会に提出・公表
- ➡花巻の教育への掲載
「花巻の教育」に掲載し社会教育事業を周知
- ➡今後の重点としては、コミュニティスクールの運用と中学校部活動の地域移行など協議を進めていく必要あり。

13

④今後の社会教育の充実に向けて

地域の社会教育について

地域の課題として、社会教育を支える人材の研修と地域（コミュニティ会議）が抱える問題に対する支援を意識した取り組みを充実

- ➡花巻市生涯学習関係職員研修
生涯学習課等で実施する市民講座などの企画検討を行うために、事例発表やワークショップなどを行い、意見やアイデア等を集約し講座内容の充実を図るための研修会を引き続き行う。
- ➡その他社会教育などの研修
県の生涯学習推進センターと連携し、地域支援室とも連絡しながら地域の社会教育を行うコミュニティ会議の研修を強化する。また、オンラインで対応できる事業を行うために、リモート機材の使い方などの研修会を行う。

14

④今後の社会教育の充実に向けて

社会教育の重点と考えられる事項

- ➡若者向けの事業
若者の趣味活動の個別化が進んでおり、社会教育事業への関心が低い現状がある。若者向け事業の企画が必要。
子育てに対する不安や悩みを感じる親が増えており、子育てに関する情報や学習機会を工夫して家庭教育に対する関心を高めることが必要。
- ➡地域づくりのための学び
地域において、人々が安心して心豊かな生活を送ることができる地域づくりが大きな課題となっており、そのためにも社会教育が重要。
- ➡社会教育とICT活用
オンラインによる生涯学習事業の開催や、Youtubeなどを活用してコミュニティ会議などあらゆる機関から発信する情報コンテンツの作成・支援が必要。
一方では、インターネットを使えない人に対して支援を行い、生涯学習につなげる機会が必要。

15

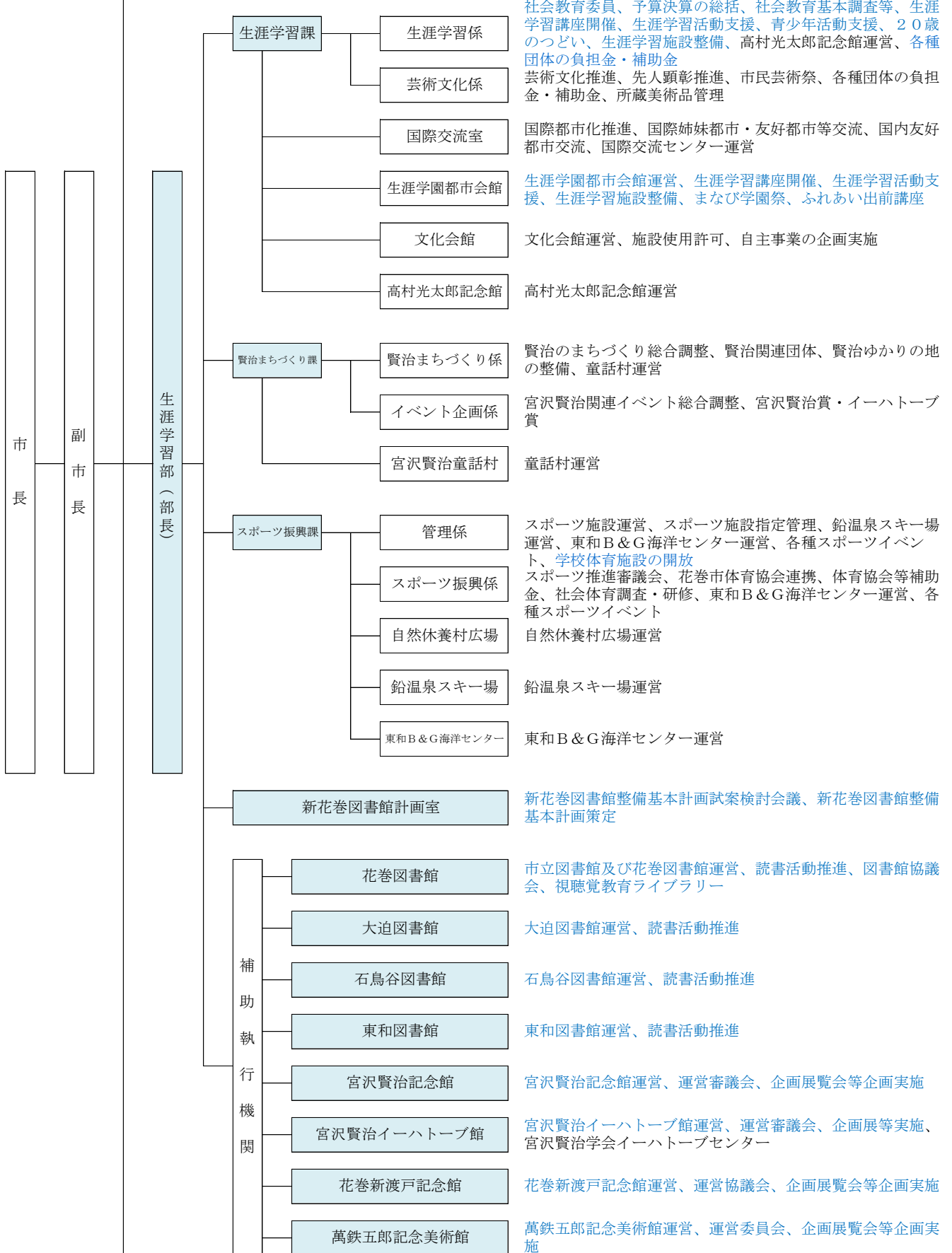


⇒ 補助執行させる機関の職員

青文字

⇒ 補助執行に関連する事業

【 市長部局（生涯学習部） 】



※「花巻の教育」に記載しております生涯学習部の組織図を基にしております。

3 生涯学習の推進

【基本方針】「市民が、生涯を通じて学び、広い視野を持って活動するまち」

【成果指標】・・・まちづくり市民アンケート（現状値＝令和元（2019）年度実績）

指標名	現状値	令和3年度実績値	令和7年度（2025）
日頃、学習活動や趣味、運動などに取り組んでいる市民の割合	33.2%	21.9%	44.6%

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため施設利用制限があったことから、市民の日頃の生涯学習活動への取り組みに影響があったと思われる。このような状況下において、感染症対策等に配慮しながら各種事業を実施した。

自主的学習の推進については、市民講座等が施設利用制限により実施回数が少なくなった。また、感染症対策として、リモートでの講座開催や会議の開催、収録した講座の配信などこれまでにない取組を行った。

新花巻図書館整備基本計画策定に向けて、各種団体や専門家などによる新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、新花巻図書館のサービスや機能などについて検討を行った。

視聴覚教育推進は、視聴覚教育ライブラリーの利用促進について、映画会の開催以外にも、企業など各団体での研修会を目的とした利用が一定数あったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、生涯学習研修会等での周知活動は想定より少なかった。また、読書活動推進も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、おはなし会などのイベントが中止になることが多かったが、読書への意欲を高めることを目的に図書のテーマ展などの企画展示をこまめに開催した。

青少年健全育成の推進については、感染症対策を講じた成人式の開催方法について会場選定や入場方法、来賓の出席、保護者への対応などを検討し、十分な感染症対策を行って開催した。

市立図書館においては、市民の生涯学習の機会を広げるため、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を促進し、周知活動を行いながら、貸出しや映画会等事業を実施し、視聴覚資料等を活用した学習機会の提供を行った。また、読書習慣の定着化のため、対象年齢に合った絵本の選書に努めながら乳幼児親子への読み聞かせなどの事業を行い、早い時期から本に親しみ、継続して読書を行う環境づくりを図った。

（1）自主的学習の推進

（単位：千円）

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
①	生涯学習講座開催事業	学習機会として提供している各種講座を開催し、生涯学習のきっかけづくりや、自主学習への関心を高められるよう努めた。 ○市民講座 ○高齢者学級 ○女性学級 ○イーハトーブ花巻カレッジ ○富士大花巻市民セミナー ○地域生涯学習担当者研修 ○家庭教育支援講座	25,662	22,387	生涯学習課
②	生涯学習活動支援事業	市民の自主的な生涯学習の活動を支援するため、学習機会と発表の場を提供する予定であったが、コロナウィルス感染症の感染拡大の影響により、各施設の利用が制限され開催が困難となるなど、厳しい環境下での事業実施となった。 ○ふれあい出前講座の実施 ○まなびキャンパスカード発行 ○学習資源検索システム運用	8,116	5,852	生涯学習課

③	視聴覚教育推進事業	視聴覚教育資料等を活用した学習機会の提供を行った。 ○視聴覚教育資料・機材の貸出(学校、振興センター等) ○各種映画会の実施(こども映画会、バリアフリー映画会等) ○16ミリ映写機操作技術講習会	3,110	2,991	花巻図書館
④	生涯学習施設整備事業	生涯学習の活動拠点施設の適正な整備修繕を行うための工事等を行った。 ○生涯学園都市会館大規模改修工事 ○石鳥谷生涯学習会館整備実施設計	155,401	116,320	生涯学習課
⑤	読書活動推進事業	読書習慣の定着化のため、早い時期から本に親しみ、継続して読書を行う環境づくりを図るための事業を行った。 ○ブックスタート及びブックスタートプラス事業 ○読み聞かせ事業 ○花巻市みんなでライブラリー事業 ○読書活動推進スキルアップ講座 ○読書おもいで帳の発行	7,245	6,528	花巻図書館
⑥	図書館整備事業	新花巻図書館整備基本計画試案の策定するため、専門家や市民団体の代表と検討会議を開催したほか、中高生や子育て世代などと意見交換を行い試案に反映し、新花巻図書館の機能やサービスについて検討を進めた。	4,397	3,214	新花巻図書館計画室
⑦	図書館改修事業	利用者の安全性かつ快適性を確保し、施設の長寿命化を図るため、石鳥谷図書館空調設備更新工事を行った。	54,384	50,325	花巻図書館

市民一人ひとりが生涯にわたって学習ができる環境を充実させるため、生涯学園都市会館等における各種講座の実施や各地域コミュニティが実施する地域生涯学習事業を支援するなど、多様な学習機会の提供に努めた。

ふれあい出前講座やまなびキャンパスカード、はなまきまなびガイドの運用等により、自主的な学習への取組を推進し、生涯学習活動の支援に努めた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、各施設が利用制限され、生涯学習事業の開催が困難となるなど、厳しい環境下での事業実施となった。

学習機会として提供している各種講座参加者のアンケートによると、もっと学んでみたいと考える人の割合が高かった。各種講座を通じて、生涯学習のきっかけづくり、自主的な学習への関心はおおむね高まっている。

生涯学習の拠点施設の適正な整備修繕等を行うための工事等を行った。

新花巻図書館整備に向け、新花巻図書館整備基本計画試案を策定するため、各種団体や専門家などによる新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、新花巻図書館の機能やサービスについて検討を進めた。

市立図書館においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、おはなし会や映画会などのイベントが中止になることが多かったが、読書への意欲を高めることを目的に図書の特展などの企画展示をこまめに実施したり、地区や企業など各団体に視聴覚教育資料を利用いただいたりするなど、読書活動の推進、視聴覚資料等を活用した学習機会の提供を行った。

(2) 青少年健全育成の推進

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
①	青少年活動推進事業	児童・生徒・青年の健全育成を図るため、体験活動の場の提供や青少年関係団体への支援を行うとともに、成人式を開催した。 ○青少年体験活動の実施 ○青少年関係団体への補助(3団体) ○成人式の開催	3,064	2,632	生涯学習課

青少年体験活動事業の実施や青少年関係団体への支援、ボランティアグループの活動誘導を通じて、地域のリーダー等の育成を図った。

4 スポーツの振興

【基本方針】「市民が、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツに親しみ元気に活動するまち」

【成果指標】…まちづくり市民アンケート（現状値＝令和元(2019)年度実績）

指標名	現状値	令和3年度実績値	令和7年度(2025)
日頃からスポーツに取り組んでいる市民(20歳以上)の割合	49.1%	47.6%	65.0%

5 芸術文化の振興

【基本方針】「市民が、地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しむまち」

【成果指標】…まちづくり市民アンケート（現状値＝令和元(2019)年度実績）

指標名	現状値	令和3年度実績値	令和7年度(2025)
この1年間に芸術文化活動を行った市民の割合	21.8%	15.1%	40.0%
郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	69.2%	55.1%	71.0%

芸術文化活動の推進については、芸術文化活動に取り組む環境をつくるため芸術文化活動団体への支援を行った。また、芸術文化活動の場として文化会館では、感染症流行下でホール運用を継続するため、国のガイドライン等に則った細やかな感染症対策の実施や機器のメンテナンス等の実施により、感染拡大期には休館としたものの、自主事業について概ね実施できた。また、文化会館の利用促進を図るため、展示室を利用した障がい者アートの展示や若年層向け公演の開催など、従来より充実した主催事業を展開できたほか、地元や美術館運営協議会委員からかねてから要望のあった、萬鉄五郎記念美術館の収蔵庫施設の整備を実施した。

先人の顕彰については、各記念館等において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により施設制限による休館期間があったものの、予定していた企画展などは関係者などに協力をいただきながら期日を調整するなどして開催することができた。また、オンラインを活用した事業などにも取り組み、遠方の方にも参加いただける環境を整えるなど、生涯学習ニーズの多様化に対応する事業を実施した。また、12月11日～1月23日の期間に開催した共同企画展「ぐるっと花巻・再発見！～イーハトーブの先人たち～」では、花巻新渡戸記念館、博物館、萬鉄五郎記念美術館の3館で規模を縮小しての開催となったが、昨年度と比べ開催期間中の来場者数が増加した。

(1) 芸術文化活動の推進

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
④	萬鉄五郎記念館企画展示事業	萬鉄五郎を顕彰するとともに市民の美術に対する関心を高めるため、萬鉄五郎・親子向け・岩手の美術家・花巻の美術家を紹介する展覧会を開催した。 ○つながる ひろがる 萬鉄五郎展(4/24～7/4) ○宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展(7/10～10/3) ○宇津宮功展(10/9～12/5)	10,445	10,167	萬鉄五郎記念美術館
⑤	萬鉄五郎記念館等整備事業	美術館の所有する美術品を適正な環境で保存すべく、旧土沢小学校新校舎を美術館の収蔵庫及び倉庫に改修する工事を行った。	44,341	44,341	萬鉄五郎記念美術館

萬鉄五郎記念美術館においては、新型コロナウイルス感染拡大のため8月14日から9月25日まで休館したことから、当初予定していた萬鉄五郎記念美術館企画展示事業の各展覧会の会期の変更を余儀なくされた。

企画展示事業は、萬鉄五郎関連、若年層への美術普及を目的とした絵本作家展、岩手出身の現代作家展などバランスの良い企画展示を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館により、会期が変更になった展覧会もあったが、市民の美術への関心を高めることができた。

美術館の所有する美術品を適正な環境で保存するため、旧土沢小校舎の一部を美術館の収蔵庫及び倉庫に改修する工事を行い、所蔵美術品を適正な環境で収蔵できる環境を整えた。

(2) 先人の顕彰

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
③	宮沢賢治普及・啓発事業	宮沢賢治の人と作品に対する理解を深めるとともに、研究者・愛好者の交流を深めるため、宮沢賢治に関する資料を収集・保存し、情報を提供するとともに、セミナーや研究発表会、シンポジウム、研修会、企画展等を開催した。 ○夏季セミナー「宮沢賢治とオノマトペ」(8/7) ○研究発表会「森の答え一村を開くことの許し」(9/23)ほか ○オンライン講座「宮沢賢治で卒論・修論書いてみる？」(10/3) ○安藤徳香「やまなし」原画展(4/1～5/31) ○東日本大震災10周年特別企画「3・11東日本大震災の記憶・陸前高田」(6/2～8/4) ○宮沢賢治とオノマトペ(8/7～11/17) ○イーハトーブの風景 亀澤裕子押し花展Ⅱ(11/20～R4/1/20) ○賢治さんの世界を描く絵画(R4/1/22～3/31)	13,110	10,832	宮沢賢治イーハトーブ館

④	企画展示事業 (新渡戸記念館企画展示事業)	<p>市民が地域の歴史や文化に触れ、郷土への愛着や誇りを醸成するため、花巻の開発に貢献した新渡戸氏の顕彰と新渡戸家に関わりのあった先人達の業績などを紹介した。</p> <p>○企画展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新渡戸の言葉の色紙展(6/1～11/30) ・収蔵資料展-雛人形展-(R4/2/11～4/3) <p>※8/14～9/24まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館</p> <p>○教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした講座、移動研修 ・資料送付、新聞への広告掲載 <p>○開館30周年記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津田塾大学学長による講演会(10/16) 	1,475	1,321	花巻新渡戸記念館
---	--------------------------	--	-------	-------	----------

宮沢賢治イーハトーブ館の入館者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、前年度と比較して1,984人の減となった。また、セミナー等の開催については、前年度開催できなかったが、今年度は、開催手法をオンライン(Zoom)を使用しながらのハイブリット開催であり、ウィズコロナ時代の方法を模索することができたが、方法の周知が不足したこともあり、参加者については少数であったことから今後の周知方法を検討していく。

花巻新渡戸記念館においては、市民に地域の歴史や文化を紹介するため、新渡戸家ゆかり先人や新渡戸氏が活躍した当時の花巻地方の新田開発を紹介する展示を行うとともに、企画展・開館30周年記念講演・講座・移動研修なども実施し、郷土の歴史や先人の業績に対する理解を深めることができた。

振興センターとの事業連携

- ・第3期花巻市教育振興基本計画（P27より）

◆自発的・自主的な学習活動の支援と相談体制の充実（抜粋）

「自発的・自主的な学習活動や講座企画にかかわるワークショップの開催など、**地域での生涯学習活動の支援を行う**」

取り組み①「花巻市生涯学習関係職員研修」

- ・市内の生涯学習関係職員（生涯学習課、各総合支所支援室、石鳥谷生涯学習会館、コミュニティ会議）を対象とした研修を開催

<令和4年度研修内容>（別紙参照）

- （1）講座に企画に役立つ？ふれあい出前講座を体験しよう！
- （2）いまさら聞けない？いえいえ！詳しく聞こう市内の生涯学習講座事例
- （3）みんなで企画を考えるワークショップ！
- （4）花巻・大迫・石鳥谷・東和の各地区で意見交換

取り組み②「コミュニティ会議事業へのバス支援」

- ・コミュニティ会議が主催する移動を伴う生涯学習事業において、花巻市と事業共催することで、市のバスを活用

<令和4年度共催件数>

花巻地区 29件、石鳥谷地区 3件、東和地区 4件 計36件

取り組み③「コミュニティ会議事業の連携・支援」

- ・コミュニティ会議が主催する生涯学習事業において、事業相談や事業応援などで連携・支援

<令和4年度事業計画>

地 区	コミュニティ会議数	生涯学習事業数	生涯学習事業回数
花巻地区	11	121	372
大迫地区	4	24	33
石鳥谷地区	6	49	79
東和地区	6	64	182
合 計	27	258	666

<令和3年度事業から特色ある事業紹介>

- ・花西地区まちづくり協議会
⇒ 「花西未来塾」 まちづくりを担う人材を育成するワークショップ
- ・大迫地区コミュニティ振興会
⇒ 「健康教室」 フットケア教室、転倒予防教室体験会
- ・田瀬地域コミュニティ会議
⇒ 「金の発掘探検隊」 金採掘の歴史がある川で砂金取り体験

令和 4 年度

花巻市生涯学習関係職員研修

2022




『市民が、生涯を通じて学び、広い視野を持って活動するまち』

(花巻市教育振興基本計画「3 生涯学習の推進」で定める基本方針)

目 的

生涯学習関係職員を対象として、生涯学習課等で実施する市民講座等の企画検討に関する研修会等を行うことにより、意見やアイデア等を集約し、講座内容の充実を図る。もって、今後開催する講座内容の基礎とする

主 催 花巻市生涯学習部生涯学習課

対象職員 生涯学習課、  

各総合支所地域支援室職員、
石鳥谷生涯学習会館職員、
地域コミュニティ会議職員

申込・問合せ

生涯学習課：生涯学習係

☎0198-41-3587 (ダイヤル)

E-mail shougai@city.hanamaki.iwate.jp

<第1回研修会>

『講座の企画に役立つ？
ふれあい出前講座を体験しよう!』

日時 令和 4 年 8 月 26 日 (金)

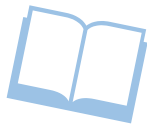
14:00~16:30

会場 まなび学園 (AV ルーム他)

定員 20 名

講師 生涯学習講師 菊池 みよ子 氏
花巻図書館職員

内容 視聴覚ライブラリー等の図書館事業の紹介や
ふれあい出前講座新規登録講師の講座の体験
など、講座の企画に役立つ情報を伝えます。



<第2回研修会>

『いまさら聞けない?…
いえいえ! 詳しく聞こう
市内の生涯学習講座事例』

日時 令和 4 年 9 月 26 日 (月)

14:00~16:00

会場 まなび学園 第1中ホール

定員 20 名

内容 令和3年度に行った生涯学習講座等の内容を
詳しく聞きます。(事例は検討中ですが、
3事業程度紹介する予定です)



<第3回研修会>

『みんなで企画を考える
ワークショップ!』

日時 令和 4 年 10 月 27 日 (木)

14:00~16:00

会場 まなび学園 第2・3中ホール

定員 20 名

内容 令和5年度の生涯学習講座の企画立案に
役立てるために、みんなでアイデアを出
し合い、企画のヒントをつかみます。



<その他・意見交換会>

花巻・大迫・石鳥谷・東和の
各地域で意見交換

期日 令和 4 年 11 月~12 月

会場 4 会場・各地域で会場を設定します

定員 20 名

内容 生涯学習事業について 4 地域で意見交換
して、良いことはみんなで共有、課題は
みんなで最善の策を考えます。

